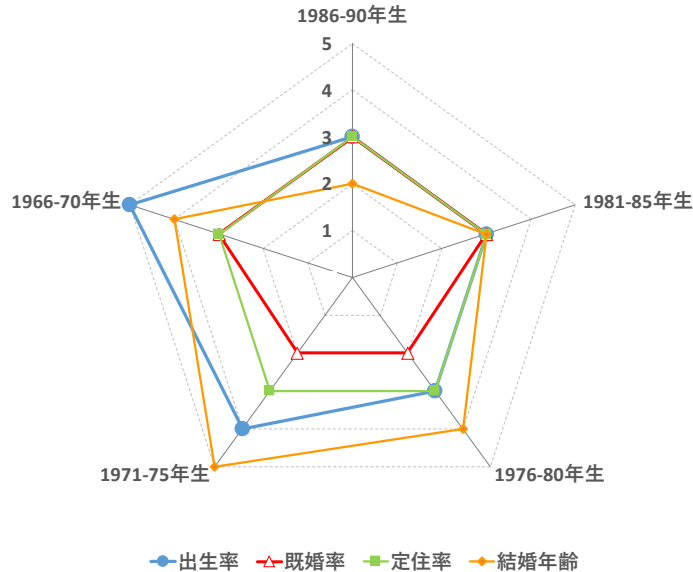


(19) 南魚沼市

①出生に関する総合評価

図19-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

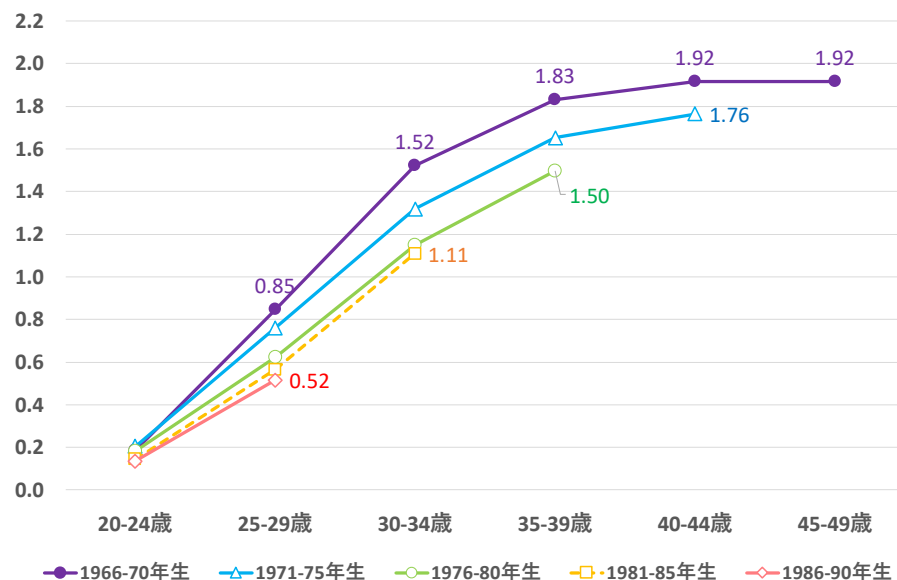
1. 合計出生率は、1966-70年生まれは最上位であるが、1971-75年生まれは上位、1976-80年生まれから1986-90年生まれまでは中位である。
2. 女性既婚率は、1971-75年生まれと1976-80年生まれは下位であるが、1966-70年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは中位である。
3. 女性定住率は、すべてのコホートで中位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれと1976-80年生まれは上位、1971-75年生まれは最上位であるが、1981-85年生まれは中位、1986-90年生まれは下位である。

【総合評価】

1. 南魚沼市では、女性定住率が全コホートで中位であり、女性既婚率は全コホートで中位以下である。1960年代後半と1970年代前半生まれまでは合計出生率と結婚年齢が上位以上であるが、1970年代後半生まれ以降は、合計出生率が中位に低下している。
2. 1970年代後半生まれ以降のコホートでは女性既婚率がさらに低下傾向にあり、25-29歳までの合計出生率がそれ以前のコホートよりも低下している。
3. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1970年代後半生まれから1人を下回っており、さらに25-29歳の出生率が低下傾向にあることから、今後1人以上を回復できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。

②コホート合計出生率

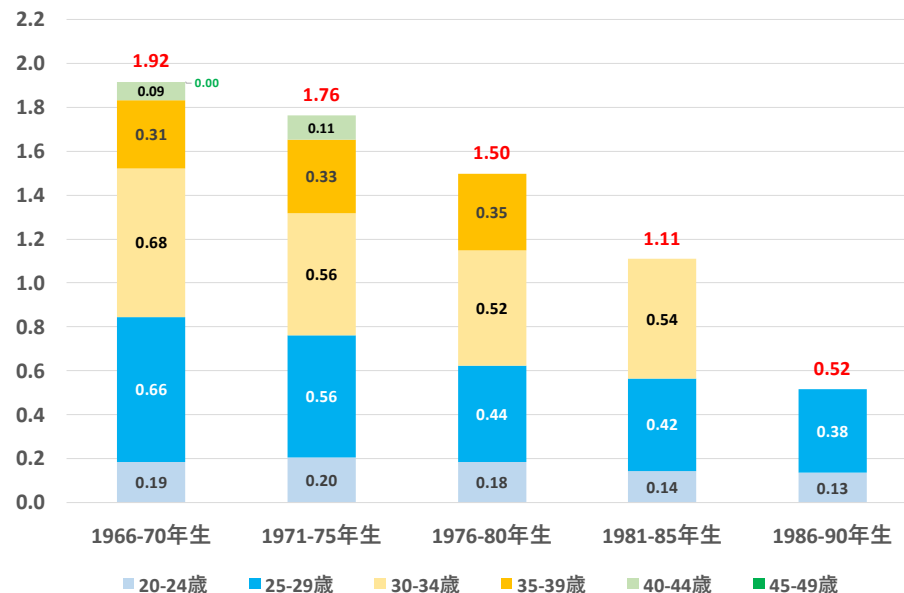
図 19-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 19-2 は、南魚沼市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ 1976-80 年生まれ以降のコホートでは 25-29 歳以降の合計出生率がさらに低下している。

図 19-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

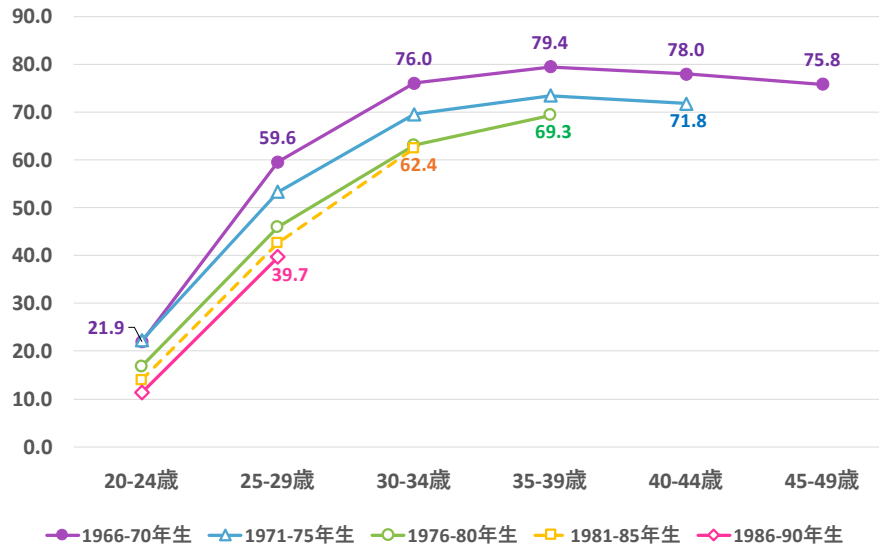


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 19-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.85 人に対して、1986-90 年生まれは 0.51 人に大きく減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.99 人に対して、1976-80 年生まれは 0.87 人に低下している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1976-80 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.96 人に減少した。

③コホート別既婚率

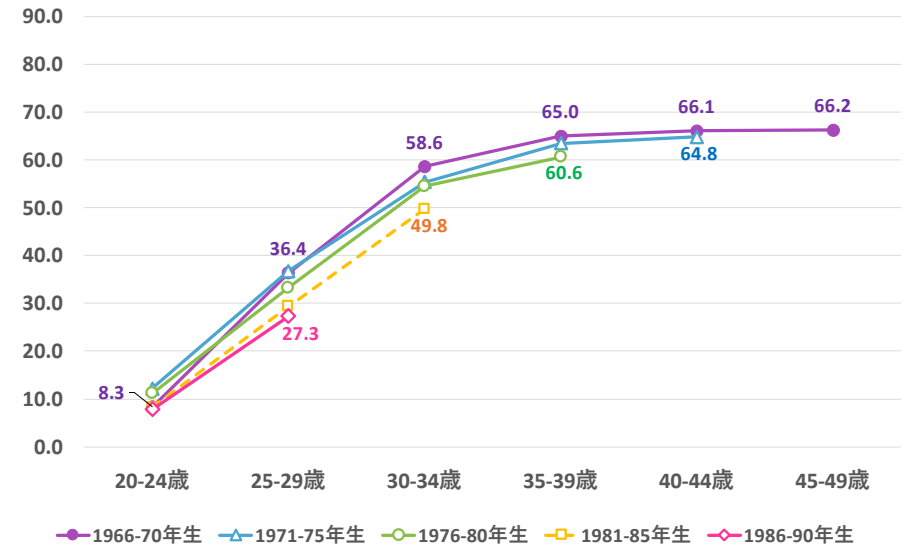
図 19-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 19-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の大きな低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 59.6%から 1986-90 年生まれは 39.7%へと 19.9 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 79.4%から 1976-80 年生まれは 69.3%へと 10.1 ポイント低下している。

図 19-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

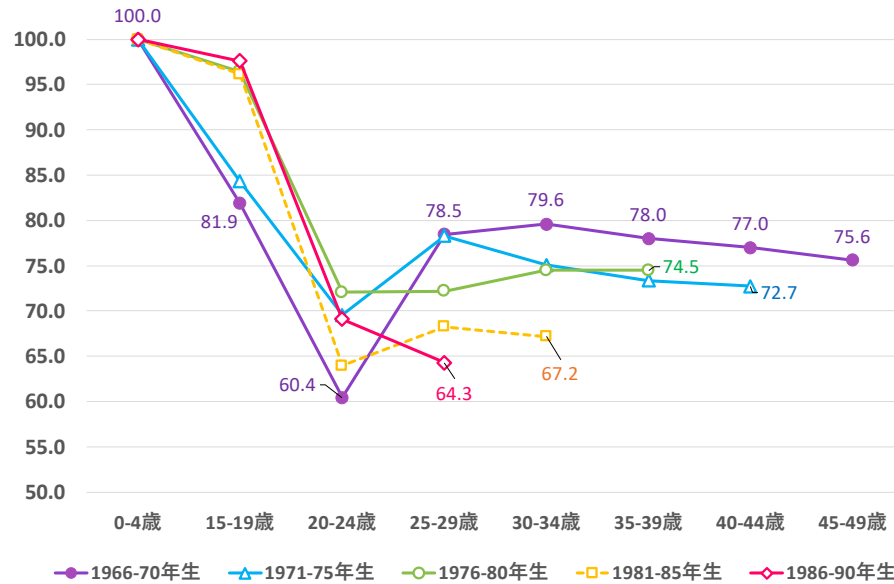


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 19-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 36.4%から 1986-90 年生まれは 27.3%に 9.1 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 65.0%から 1976-80 年生まれは 60.6%に 4.4 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%前半から半ばに達するが、男性は 60%前半半ばに止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 19-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

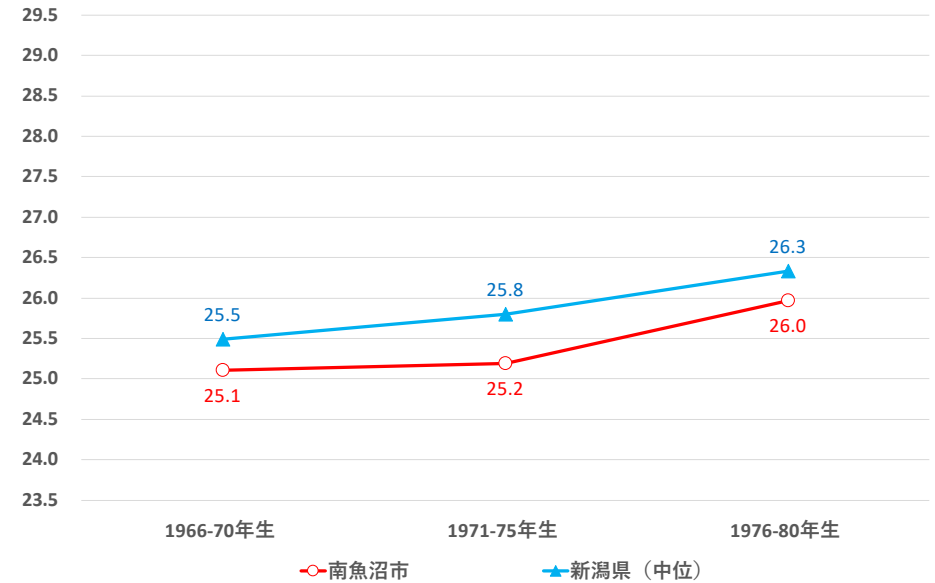


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 19-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの78.5から1986-90年生まれは64.3に14.2ポイント減少している。また、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの78.0から1976-80年生まれは74.5に3.5ポイント減少している。
- ・ 南魚沼市では、25-29歳時でみると、1970年代生まれコホートまで0-4歳時点の70%台後半を維持してきたが、1980年代生まれ以降は、60%台半ば前後まで減少している。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 19-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

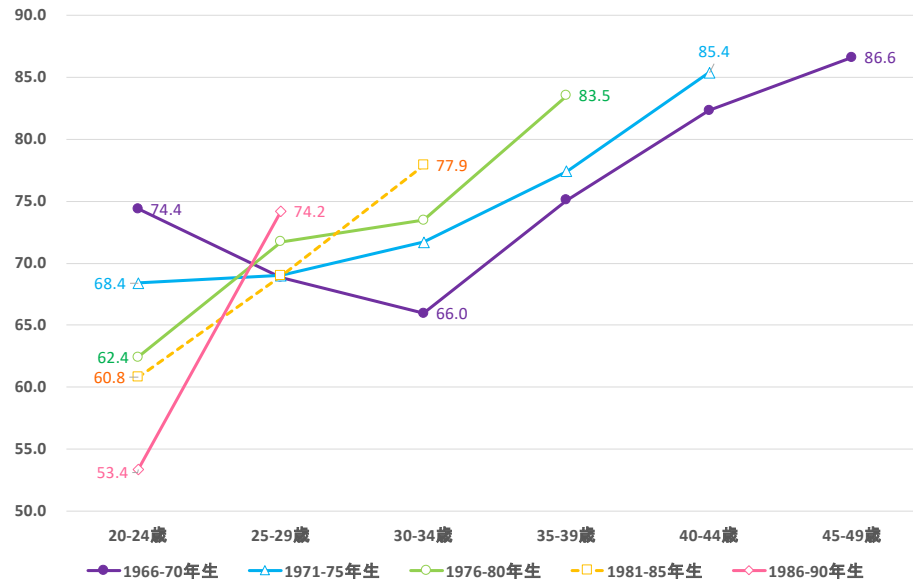


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 19-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.1歳、25.2歳、26.0歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.9歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は9位、1971-75年生の県内順位は7位、1976-80年生は7位と平均結婚年齢が県内ではやや早い自治体となっている。

⑥コホート別女性就業率

図 19-8 コホート別女性就業率 単位：%

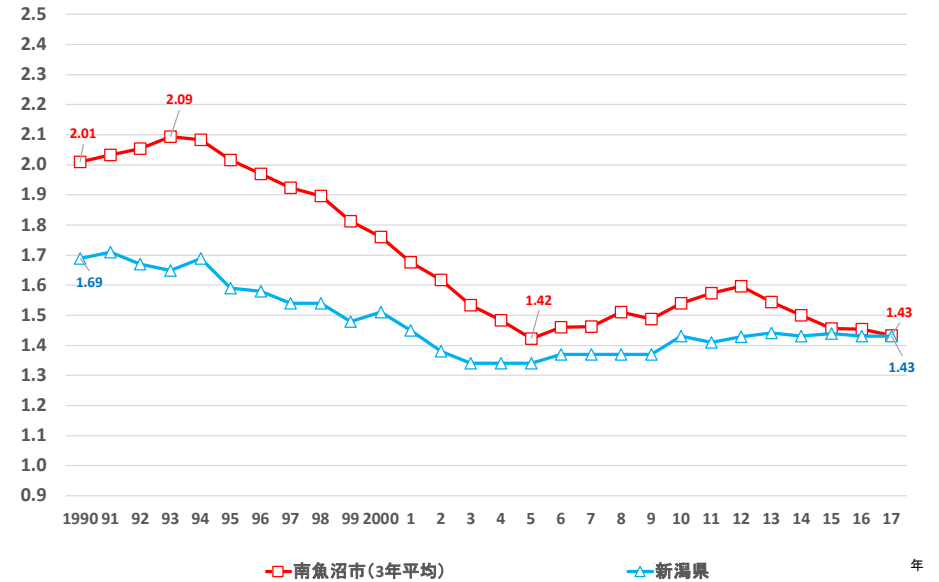


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 19-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれのコホートのみ低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると、1966-70 年生まれは 66.0%であったのに対して、1981-85 年生まれは 77.9%に上昇している。
- ・ 1966-70 年生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1970 年代生まれ以降のコホートでは 30-34 歳時点で M 字が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 19-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 19-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と南魚沼市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降で見ると、南魚沼市の期間合計特殊出生率は 2017 年を除き新潟県平均より高く、期間平均では 0.21 ポイント高い。
- ・ 南魚沼市の期間合計特殊出生率は、1993 年の 2.09 から 2005 年の 1.42 まで大きく低下した。その後 2012 年には 1.60 まで改善したが、2017 年には 1.43 に再び低下している。